

建コン協会九州支部「令和6年度定時総会」開く

技術者の育成と業界の発展を目指し、九州支部の使命と責任を果たす



建コン九州支部の令和6年度定時総会、さらなる発展を目指す

(一社)建設コンサルタント協会九州支部(田中清支部長)の「令和5年度定時総会」は23日、福岡市のオリエンタルホテルで開催した。総会には委任状を含め151社が出席し、令和5年度の事業報告と決算を審議可決したほか、①魅力向上に向けた総合的な環境整備、②技術力と品質の確保・向上の促進、③広報活動の強化と社会貢献活動の推進、④職業倫理の保持と法令遵守の徹底、⑤会員であることによる便益向上の一層の促進などの運営方針に基づく令和6年度事業計画の報告や新年度新役員の紹介があった。総会後は(一社)建設コンサルタンツ協会副会長・専務理事の多田智氏を招き講演会、懇親会が開かれ、新年度に向けての更なる躍進を誓い合った。



あいさつする田中支部長

総会の冒頭で田中支部長は「令和6年の支部総会において、以下の3点をお伝えさせていただきます。まず、最初に、4月1日現在の支部会員数は158社であり、関東支部に並びトップクラスの規模を誇ります。多くの会員が活発な活動を行っており、ご協力に深く感謝申し上げます。次に、インフラDXへの対応についてです。国土交通省は令和5年4月から、BIM/CIMの活用化が原則適用になりました。地方自治体においても、少しずつですが、BIM/CIMの試行が行われています。BIM/CIM、AIやICTなどのデジタル技術を活用するインフラDXを公共工事に取り入れるならば、大手企業だけでなく、中小企業も含めた建設業者全体が対応する必要があります。最後に、賃上げや担い手の確保・育成による業界の好循環についてです。技術者単価の上昇に対応し、賃上げを行うことで担い手の



新役員紹介



退任役員紹介



支部表彰

確保と育成を図り、業界の好循環を維持するためには原資の確保、事業量や最低制限価格、調査基準価格のアップが必要です。今後も発注者との意見交換を通じて、この重要性を訴えていきたいと考えています」とあいさつした。

このあと、田中支部長を議長に①令和5年度事業報告(案)に令和5年度決算(案)・監査報告、③支部役員の改選(案)を審議可決した後、令和6年度の事業計画・予算の報告が行われた。事業計画では運営方針に①建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備(・発注機関との意見交換会の開催・経営の安定化と就業環境の改善・若手と女性社員がより働きやすく活躍できる職場環境)総務・企画部会の「女性技術者委員会」と「若手技術者委員会」では、令和6年度にワーキンググループを設置し、多様性社会における建コン若手および女性技術者委員会の在り方を検討、②技術力と品質の確保・向上の促進(・各技術分野における技術力と品質の確保、公寿施策に関する情報提供・生産性向上につながる各種の施策や先進技術などの情報提供と取組・受発注者それぞれの役割を踏まえた国土強靱化を含むSDGsへの取組)技術部会の「道路技術委員会」ではSDGsの探究活動として「2050年の九州の街づくりを想像する」と題して出張授業を行う。③広報活動の強化と社会貢献活動の推進(・産学官一体となった建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等に関する工法活動

の強化・災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供・各種社会貢献活動等の継続と充実)対外活動部会の「広報委員会」では広報イベントとして土木を学ぶ学生を対象に実施する「土木遺産な旅」を計画。④職業倫理の保持と法令遵守の徹底(・職業倫理の保持について啓蒙活動の推進・法令遵守の徹底と課題発生時における助言と支援など・労働法制改正、民放改正への対応支援)、⑤会員であることによる便益向上の一層の促進(・上記4項目による便益についての理解の促進・企業経営等に係る各種研修会、講習会による情報提供・企業のDX推進に向けた各種情報提供)など支部組織を挙げて取り組むことにしている。

総会では、令和6年度の新支部役員や退任役員の紹介、部会活動において功績のあった4社(1社欠席)の支部表彰が行われた。



講演する多田副会長

懇親会に先立って開かれた講演会では、多田副会長が「ハチヤメチャ役人人生を振り返り、これからの日本を考える」をテーマに講演。建設省入省から現在まで、経験の貯金がいかに自分を後押ししてくれたか体験談を交えて語った。個々の考え方として、既存のものを疑う、目の前のものを検証するなど、多様な視点や役割を意識すること。いくつもの側面を考えることで、環境の変化にも対応できる。未来を切り拓くためには、柔軟性とチャレンジ精神が欠かせないと伝え、講演に参加した会員は、熱心に耳を傾け、真剣な表情で講演内容を受け止めていた。

総会・講演後に開かれた懇親会では、会員らは情報交換を通じて絆を深めた。

令和6年度新役員は次の通り（○は新任、氏名は敬称略）。

支部長＝田中清（第一復建（株））、▽副支部長＝○東野修幸（西日本技術開発（株））、上村俊英（（株）建設技術研究所）▽総務・企画部会長＝眞間修一（八千代エンジニアリング（株）九州支店）、副部会長＝高橋直哉（（株）エイト日本技術開発九州支社）、○安井義博（（株）長大福岡支社）▽対外活動部会長＝森山秀馬（第一復建（株））、副部会長＝野上和彦（（株）福山コンサルタント）、安部清美（扇精光コンサルタンツ（株））、○川野哲郎（（株）高橋総合コンサルタント）、○福岡仁（（株）新和コンサルタント）、○吉野俊輔（精功エンジニアリング（株））、中田慶一郎（（株）九州開発エンジニアリング）、小澤修三（（株）東九州コンサルタント）、○安永信一郎（（株）国土技術コンサルタンツ）、▽技術部会長＝友光宏実（大日本ダイヤコンサルタント（株）九州支社）、副部会長＝愛敬圭二（中央コンサルタンツ（株）福岡支店）、○生島潤一（日本工営（株）福岡支店）、○前田義孝（いであ（株）九州支店）、▽夢アイデア部会長＝後藤正孝（復建調査設計（株）九州支社）、副部会長＝○高野道直（JR九州コンサルタンツ（株））、▽特別部会長＝田中清（第一復建（株））、副部会長＝○東野修幸（西日本技術開発（株））、上村俊英（（株）建設技術研究所九州支社）、▽地域部会長＝○福岡仁（（株）新和コンサルタント）。副部会長＝中田慶一郎（（株）九州開発エンジニアリング）